

## 問 題

日本を代表する哲学者のひとり、三木清 (1897-1945) は、著書『人生論ノート』のなかで、「幸福」と「成功」とを比較し、量的に計量できるのが「成功」であるのに対して、決して量には還元できない、質的なものが「幸福」であると指摘した。このように、三木は成功と幸福は異なると考えているが、自身の具体的な成功体験に関するエピソードをひとつあげ、そこでの幸福について述べなさい。

補足 三木清は治安維持法で検挙され、獄死した抵抗の思想家である。

## 注意事項

- 1) 試験時間は、午前8時40分から9時40分までの1時間です。  
試験終了までは原則として退場を認めません。
- 2) 題名を記入する必要はありません。
- 3) 横書きで書いて下さい。
- 4) 文字数は600字以内で所定の用紙に書いて下さい。
- 5) 『小論文用紙』で採点評価するので、『下書用紙』と取り違えないように注意して下さい。
- 6) 小論文用紙、下書用紙それぞれに受験番号、氏名を記入して下さい。
- 7) 試験終了後に小論文用紙、下書用紙を回収します。